

ハイエースのツーリングカー仕様への改装記録

小生、3年ほど年前から車中泊にハマっている。もともと旅好きで、以前は前もってホテル・旅館を予約して宿泊していた。その後、旅先で、電話で空いているホテル・旅館を予約するようになった。ただ旅館のその日の予約はむづかしい。さらに、旅館は夕食が売りでそのまま食べると食べ過ぎで体調をくずす。そんなことでホテルの利用が多くなったが、予約をしようとしてチェックインタイムを気にしながらの行動となり、かなり制限される。

7, 8年前から車中泊という言葉が聞かれるようになった。そのころ車は、マツダのCX-5だったので、車に車中泊するスペースはなかった。CX-5も走行距離10万キロを超えたころ次の車を考えた。考えた車種は、走りがよく、車中泊しやすいようなものとして三菱のDELICAとマツダのCX-8が候補。長距離ドライブが主な目的なので、CX-8になった。CX-8は長さが4.9メートルもあったので、後部座席で十分寝れて、その車でしばらく車中泊をしながらドライブ旅行をしてた。車中泊は結構便利で楽しい。かなりハマってしまった。ハマってしまうほど、CX-8の不便さを感じるようになった。寝るだけならいいが、天井が低く作業ができない、出入りが面倒、運転席から車内で後部への移動ができないので雨の日は大変等々。やっぱりハイエースがいい。その思いが日増しに強まり、CX-8を3年未満で処分。ハイエースを購入することとなった。

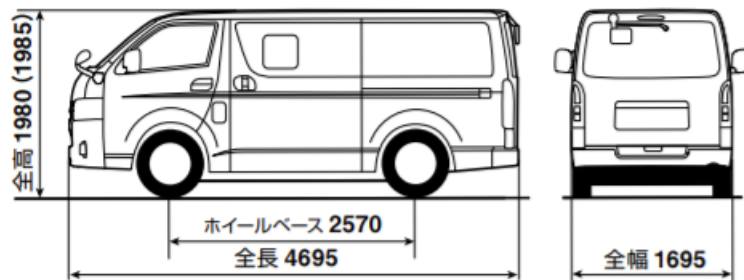
ハイエースの選択

ハイエースには数えきれないほどの種類がある。改造に適したものは運転席列の3人掛けのバンである。小生は、ディーゼルエンジンの燃費の良さと強いトルク感が好きだ。また、雪道を走るには4WDが必須そして防犯上、荷室の側面ドアは1枚もの。これらの条件に当てはまるものは1種しかない。標準ボディのバン（DX ロング 4ドア 3人乗り）である（幸い最も安価な種類である）。ワイドボディが欲しかったがそれはない。選んだバンは荷室に窓がなく、スモークガラス仕様でないので、スライド窓（両側）を取り付け、スモークフィルムを張ってもらった。荷室は長さ、2970mm、幅1545mm、高さ1335mmである。



Photo: VAN・4WD・2800ディーゼル・DX。

■ ロング・標準ボディ・標準ルーフ



購入には時間がかからなかった。トヨペット茅野に 4 月 17 日に注文、納車が 5 月 16 日だった。3 ヶ月ぐらいいはかかるものと思ってたら、早かったので拍子抜け。

改造の構想

改造を始める前に、構想を練るべく 2, 3 度車中泊に使ってみた。広い。これなら荷室をパーティションして洗面所を取れそうだ。車中泊で最も重要なことは洗面・トイレだ。道の駅を利用したとしても、豪雨の時のトイレはつらい。またトイレでの歯磨き・洗面は最も嫌なひと時である。車の中に非常用のトイレと洗面スペースがあればこれらの問題は解決できる。

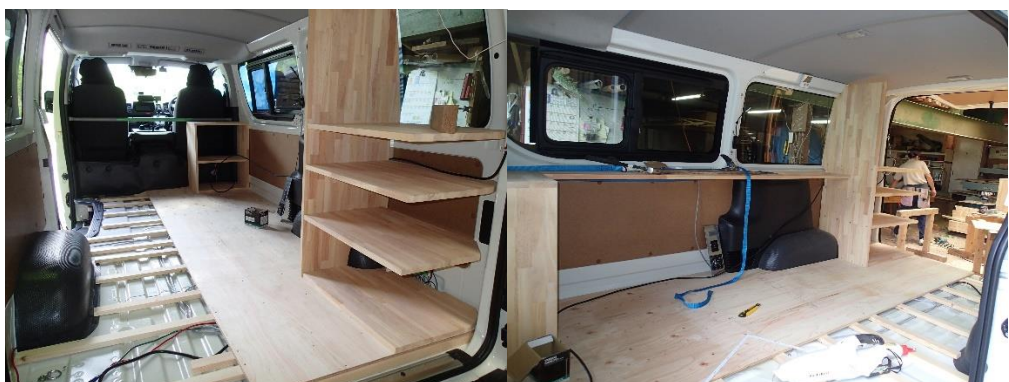
荷室の長さは約 3m ある。居住スペースを 1m×2m とし、洗面所のスペース 60cm を十分とれる。残りを冷蔵庫と電子レンジ等の調理設備の置き場とすることができる。タイヤのハウジングが邪魔なので、それを包むような物入を設置する。居住スペースは、居間、食堂、寝室を兼用できる畳の部屋とする。それらが荷室内に実現できると確信したので、大体の設計図を描いた。

大工への依頼

知り合いの大工さんにさっそく工事を頼んだ。頼んだ時期は正確には覚えていないが、5月の下旬だと思う。その後一度、工事内容の確認に来られ、設計図が不正確なので小生が工事に立ち合い相談しながら作業をすることとした。多忙なのでだいぶ後になるとのことだった。結局、工事は8月9、10日に、大工さんの工場へ車を持ち込んで行うことになった。次の一連の写真は、工事の進行様子である。



根太を引き、その上に床板を張っているところ。



荷室の後ろから60cmのところを分割し、棚を付ける。下は、2個のサブバッテリーの1個を、2段目は電源の制御装置を、3段目は無線機（IC-7100）の本体を置くところ。



タイヤハウジングを覆うようにして物入を作る。



運転席に向かって左側の様子と居住スペースに畳（半畳を2枚）入れたところ。

以上で大工さんの仕事は、終わり。

建具工事は8月30日になった。それまでの間に、電源の制御装置と洗面設備を設置した。
電源設備は、

サブバッテリー 100A ディープサイクル鉛蓄電池を2個

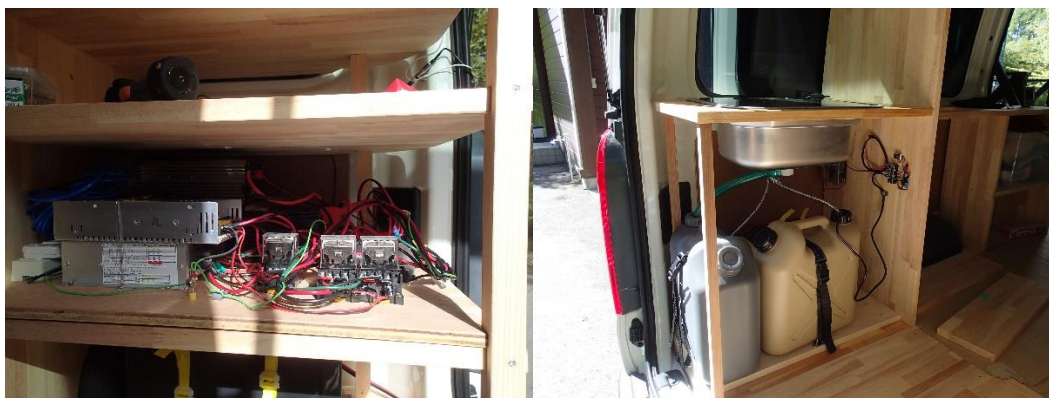
コンバータ 12V → AC100V 600W 1台、2KW 1台

走行充電制御器

外部電源からの直流12V（30A）変換器

その他 リレー類

である。サブバッテリーの充電は、走行中。またRVパークなどでの宿泊で外部電源が得られる場合、車内のAC、DC系は外部電源で賄い、かつサブバッテリーも充電できるようにする。



左の写真は、その装置。

右の写真は、洗面設備である。下に清水と排水タンク、その裏にサブバッテリーの1つが置いてある。清水タンクの中に水中ポンプがあり、水をくみ上げて蛇口から出るようにした。タンクの容量は10Lである。

完成したツーリングカー仕様のハイエース

建具工事は一日（8月30日）で済んだ。以下の写真は、完成した車内である。



左：荷室の後部をパーティションして、中折れのドアを付けた。右：タイヤハウジングを隠した物入。縦に並んでいる小さなパネルは、電源のコントローラ。新しい畳を汚すのはもったいないので、ゴザを引いてある。



左：後部ドア側の物入。 右：折れ戸を開いたところ。



左：洗面ルーム。トイレは使わないだろうが、非常用に持ち歩く。 右：電源制御装置（配線はめちゃめちゃ。だが、ちゃんと動く。）



左：洗面台の下。清水タンク、排水タンクそれと水中ポンプの制御装置が見える。右：洗面台の上。蓋を上げて使用する。



左：洗面器の蓋を上げたところ。鏡は、アルミ蒸着フィルムを張り付けたもの。右：運転席の後ろ側。運転席と荷室はカーテンで仕切る。左から、下駄箱、冷蔵庫、右側の棚の上に電子レンジ（走行中暴れないようにベルトで縛る）、中段は雑物入れ、下段は V/U 無線機（FTM100DH）の本体部分（コントローラは運転席コンソールにある）。

費用

大まかな費用を公開する。

ハイエース車両本体+オプション（ナビ等）	¥ 3,800,360.-
荷室のガラスの取り換え	169,000.-
大工工事	155,000.-
建具工事	223,300.
電気設備、洗面設備の部品代	約 160,000.-
合計	約 450 万円

キャンピングカー専門店からの購入よりだいぶ安くあがりました hi。